

コース・特徴

対象年齢



一般幹部候補生

平和を創る、次世代のリーダーとなる。

防衛大学校卒業生とともに、陸・海・空自衛隊それぞれの幹部候補生学校において、自衛隊組織の根幹である幹部自衛官として必要な知識と技能を学びながら、その資質を養います。

20歳以上26歳未満
修士課程修了者は28歳未満



防衛大学校学生（一般）

世界に通用する国防のリーダーを育てる。

自衛隊のリーダーとなる幹部自衛官を養成します。

一般大学と同様に4年間の教育を行い、学位も授与されます。広い視野、科学的な思考力、屈強な体躯、豊かな人間性を育むことで、統率力のある幹部へと成長していきます。

21歳未満
高卒（見込含）



防衛医科大学校 医学科学生

医学の知識を、国を守る力に変える。

医師という立場から平和に寄与する幹部自衛官を育てます。

6年間を通して他の医科大学と同様に最先端の一般医学と国内ではここでしか学べない防衛医学の両方を学びつつ、部隊での訓練・実習で幹部自衛官に求められる統率力も身につけます。また、将来は博士（医学）の学位を得ることも可能です。

21歳未満
高卒（見込含）



防衛医科大学校 看護学科学生

誇りを持てる保健師・看護師に。

臨地実習を重視したカリキュラムと幹部自衛官を育てるための訓練を通して、国内外のさまざまな現場で活躍できる人材を育成します。

4年間の丁寧な個別指導により、卒業時には学士（看護学）の学位が取得できるとともに、国家試験を受験し、保健師・看護師免許を取得できます。

21歳未満
高卒（見込含）



自衛官候補生

技術と体力を一心に磨く任期制自衛官。

自衛官候補生とは、入隊と同時に「自衛官候補生」に任命され、陸上自衛官が1年9か月、海上・航空自衛官が2年9か月勤務する制度です。

任用期間内は職務を通して体力と技術を磨きつつ、それらに関する資格取得も目指せます。また選抜試験を経て、幹部・曹へ進むことも出来ます。

18歳以上
33歳未満



一般曹候補生

各部隊の中核となる自衛官を養成。

一般曹候補生では、将来部隊の中核で活躍する自衛官を養成します。

非任期制のため、しっかり腰を据えて自分のペースで成長したい、または自衛官として長く活躍したいという方にぴったります。選抜試験を経て、幹部に昇任することもできます。

18歳以上
33歳未満



航空学生

大空を舞台に活躍するという夢が叶う。

海上自衛隊のパイロット・戦術航空士、航空自衛隊のパイロットを育成するコースです。

訓練を通して、戦闘機、哨戒機、輸送機、ヘリコプターなど、さまざまな機種を自在に操るためのテクニックを磨きます。海上自衛隊が航空自衛隊で、搭乗する機種や役割が異なります。

海：18歳以上23歳未満
空：18歳以上24歳未満
高卒（見込含）



陸上自衛隊高等工科学学校生徒

ここでしか学べない3年間がある。

高機能化・システム化された装備品を運用する陸上自衛官となる者を養成するための学校です。国際社会においても自信をもって対応出来る自衛官を育てます。

17歳未満の
男子

※中卒（見込み）を含む。

栃木地本

ってなに？！

栃

りく

HP

かい

Instagram

くう

X



自衛隊 仕事図鑑

陸 海 空

自衛官 募集中!

陸上 自衛隊



自衛隊の中で
最大の組織
16の職種と
活躍の場



普通科



地上戦闘の骨幹部隊として、機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。

機甲科



戦車部隊、機動戦車部隊、水陸両用車部隊及び偵察部隊があり、戦車などの正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。

野戦特科



火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して、広範な地域を制圧します。

高射特科



対空戦闘部隊として優秀な航空機等を撃破するとともに、広範囲にわたって迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。

情報科



情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い各部隊の情報業務を支援します。

航空科



各種ヘリコプター等をもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資輸送、指揮連絡等を行い、地上部隊を支援します。

施設科



戦闘部隊を支援するため、各種施設器材をもって、障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材等の整備を行います。

通信科



各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理並びに通信器材等の整備を行います。

武器科



火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。

需品科



糧食、燃料、需品器材や被服の補給・整備及び回収、給水・入浴・洗濯等を行います。

輸送科



国際平和協力活動における民間輸送力による輸送や各種ターミナル業務などの輸送を統制するとともに、特大型車両等をもって部隊等を輸送します。

化学科



各種化学器材をもって放射性物質等による汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。

会計科



隊員の給与の支払いや部隊が必要とする物資の調達等の会計業務を行います。

衛生科



患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫の技術援助及び衛生資料の補給整備等を行います。

自衛隊には
自衛官の医師や看護士がいます

音楽科



音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚するとともに広報活動を行います。

警務科



犯罪の捜査、警護、道路交通統制、犯罪の予防等、部内の秩序維持に寄与します。

海上 自衛隊



海洋の平和と
安定に寄与
約50の職種と
活躍の場



射撃



護衛艦等において、砲、ミサイルを操作し、各種目標に対する攻撃を実施します。また弾火薬等の取り扱いを実施します。

水雷



護衛艦、潜水艦及び魚雷等の水中兵器、ソーナー等の水中探知機器を操作し、潜水艦の捜索、攻撃及び器材の整備を行います。

掃海・機雷



掃海艦(艇)等で機雷探知機、掃海具等を操作し、機雷の処分及び機雷の調整、器材の保守整備等を行います。

航海・船務



航海は、艦艇の艦橋において航海に関する業務を実施します。船務はレーダー・電波探知装置等を活用し、戦術活動を実施します。

航空管制



飛行場や離着陸する航空機またはその周辺を飛行する航空機の無線・レーダー等での誘導等を業務とします。

航空機整備



航空機の機体、エンジン及び計器並びにこれらを維持するための器材等の整備、修理、補給等に関する業務を行います。

経理・補給



給与・旅費等の計算、物品等の調達、部隊の任務を遂行するために必要な物資等を準備し、供給する業務を実施します。

施設



国有財産についての管理、運用、施設器材・施設車両を用いての建設、道路等の工事及び器材の設備を行います。

通信



陸上基地、艦艇及び航空機等の通信、暗号の作成及び翻訳、通信器材・暗号器材及び関連器材の操作整備等を業務とします。

機関



エンジン(ガスタービン、ディーゼル等)発電機等の運転、整備及び火災、浸水対処等を業務とします。

潜水



浅海域における簡単な水中作業や機雷・不発弾処理等の爆発物の捜索・処分、深海域における潜水艦の乗員の救助に従事します。

飛行



P-1/P-3C哨戒機、US-1A/2戦闘飛行機、SH-60J/K艦載ヘリコプター等の搭乗員として飛行任務を実施します。

情報



情報処理の収集、処理及び情報の配布、秘密保全等を業務とします。

衛生



病院における医療及び医務室における健康管理や身体検査を実施するとともに、潜水に関する調査・研究等を業務とします。

気象・海洋



気象・海洋観測、天気図類の作成、気象・海洋関係の情報の伝達に関する業務を行います。

音楽



音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚します。また、広報活動に関する業務を行います。

艦艇や基地には、
自衛官の炊事さんがいます



南極観測船
の運航も
自衛隊の
仕事です

航空 自衛隊



日本の平和と安全を
空から守りぬく
約30の職種と
活躍の場



操縦



それぞれの部隊の航空機を運用し、防空をはじめとする各種航空作戦等の任務を遂行します。

兵器管制



日本の領空を常時監視し、接近または侵入してくる航空機等を早期に発見、識別し、必要に応じて戦闘機などの誘導を行います。

高射



侵襲してくる航空機や弾道ミサイルを撃破するため、ペトリオットミサイルシステム等の操作及び機材の整備を行います。

航空管制官は、
国土交通省と
自衛隊だけ!

気象



部隊の運用に必要な航空気象に関するデータの収集、予報などを行い、それらの情報を全国の部隊に提供しています。

情報通信



情報通信システムの運用・整備等に関する業務、サイバー・電磁波・宇宙領域に関連する業務又はその支援等を行います。

航空機整備



航空機、航空機用エンジン、航空機搭載の兵器管制装置、武器、弾薬及び車両の整備に関する業務を行います。

施設



施設の取得、建設、管理、処分等に関する管理などの業務を行います。

航空管制



飛行場において、離着陸する航空機を誘導する航空交通管制業務を行います。

会計調達



予算の編成、執行計画の作成、調達要求、原価計算、契約、監督、検査等の会計調達業務を行います。

警備



航空自衛隊の基地の警備を行い、基地内の人員、施設及び器材の防護及び警戒に関する業務を行います。

隊務管理



航空自衛隊の任務遂行に必要な総務、人事、厚生、教育、適性検査及び隊務の能率的運営に関する業務を行います。

音楽



広報、宣伝及び儀式等に関する音楽演奏の指揮、指導を行います。

輸送補給



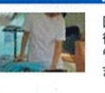
航空機又は車両による人員・貨物の輸送に関する業務、物品の需給統制、在庫管理、取得出納、保管等の業務を行います。

法務



損害賠償業務や民事裁判等の訴訟業務を行うほか、作戦における法制面の業務を行います。

衛生



医療事務管理、衛生管理、衛生運用及び医療施設管理に関する業務を行います。

宇宙領域



宇宙領域専門部隊で宇宙空間の安定的利用のため、国内関係機関及び米軍等と連携して、宇宙状況把握などの業務を行います。

自衛隊にも
消防の仕事
があります!



詳しいお問い合わせは、お気軽に最寄りの事務所へ

大田原
地域事務所

〒324-0028
大田原市富士見1-3921
(那須トラベル2F)
TEL.0287-22-2940

宇都宮
募集案内所

〒320-0845
宇都宮市明保野町1-4
(宇都宮第2地方合同庁舎2F)
TEL.028-638-1922

真岡
募集案内所

〒321-4307
真岡市西郷2585-252
(栄光ビル2F)
TEL.0285-83-7818

資料請求
はこちら
から



足利
地域事務所

〒326-0821
足利市南町4254-1
(新ニューミヤコホテル1F)
TEL.0284-73-0230

小山
地域事務所

〒323-0022
小山市駅東通り1-25-20
TEL.0285-25-4763

自衛隊
栃木地方
協力本部

〒320-0043
宇都宮市桜5-1-13
(宇都宮地方合同庁舎2F)
TEL.028-634-3385